

日本共産党長岡京市会議員

たけやま彩子



暑いが続きます。夏休みの地域プールでは今年も子どもたちの歓声が響いていました。友岡の辺りにあったレジャープール「ブルーレイク」が懐かしいです。

議員団 tel.955-9551 fax.955-9741

自宅 tel.&fax.953-4302

e-mail takeyamasaiako@gmail.com

ブログ [たけやま彩子](#) 検索

災害から市民を守るきめ細かな対策を

熊本地震の避難所

避難所対策

指定避難所以外でも受け入れの準備を

熊本地震では、指定の避難所が損壊するなど使えず、他の施設に避難するケースがたくさんありました。長岡京市では学校や公立保育所、体育館などが避難所になっていますが、ほかの公共的施設にも避難できるよう準備が必要です。

答弁では、市の直営でない公共施設も含めて協定をむすび、避難所としての活用ができるように進めているとのことでした。民間施設も可能性のあるところから進めることが求められます。

障がい者、高齢者が安心して避難できるように

避難所での不自由な生活や、そもそも避難をあきらめるケースも生まれています。「福祉避難所」の整備について、長岡京市でも取り組みのペースを上げるよう求めました。



東部の水害時一時避難場所について

水害時に浸水地域となる東部地域では、小畑川を渡っての避難が困難であるなどから、三菱電機さんやパナソニックさんなど民間企業4社に一時避難場所として協力いただく協定が結ばれました。

企業には従業員の生命を守る責任もあり、私たち住民はあくまで学校に早い目に避難することが第一ですが、いざという時の安心につながります。今後さらに協力企業等を増やしていくことを求めました。

Q. 福祉避難所の対象者数は？

A. 重度障がい者や要介護認定者などの半数の約1000人を対象者と想定。「災害時要配慮者名簿」を作成し、関係各課と共有している。

Q. 想定している対象者1000人に対し市の福祉避難所や介護付避難所は14か所、定員合計は530人。十分な受け入れができるか？

A. 一般避難所に「福祉避難コーナー」を設けて配慮の必要な人を受け入れ、さらに特別の配慮を要する人を福祉避難所で受け入れる。福祉避難所のうち1施設は耐震化できていない。

Q. 福祉避難所を運営するための物資や人材の確保は？

A. 避難所となる施設と協議し準備している。医療器具使用者のための発電機は市に5台保管。講座などを開き人材確保につとめ、周囲の自治体とも連携する。

Q. 安心して避難できるよう、もっと福祉避難所の周知徹底が必要では？

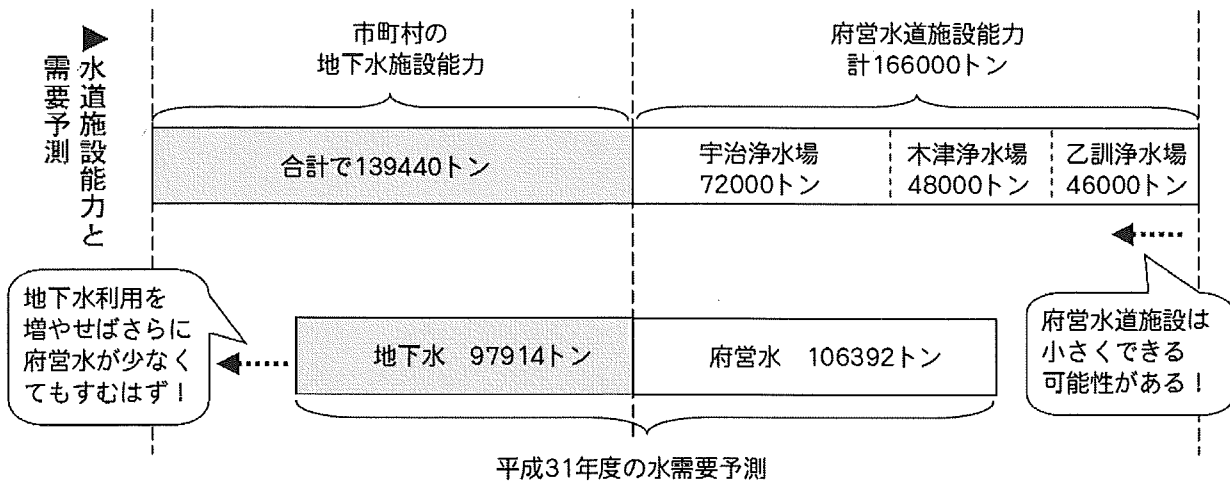
A. ハザードマップに記載。ケアマネから伝えたり、避難支援プラン作成時などに周知をはかる。

府営水道を縮小し、負担軽減と地下水利用促進を!

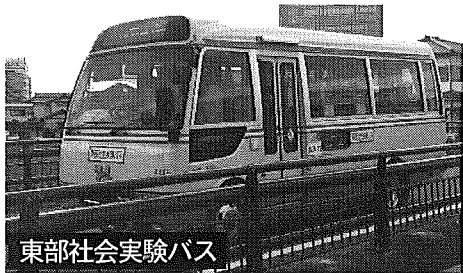
長岡京市の水道は地下水と府営水（桂川の水）のブレンドですが、高い水道料金の原因は、過剰な府営水量のおしつけです。将来予測でも府営水道は施設能力の6割程度しか使いません（平成31年度）。人口減少時代に入ったいま、府営水道の3つある浄水場と送水施設をダウンサイジング（規模縮小）するべきです。

また、府営水道のおしつけの影響で、市町の地下水（自己水）利用は伸びていませんが、市町が地下水を能力いっぱい活用すれば、さらに府営水道は小さくてもすむはずです。

こうした状況のもと、府営水道を受水する10の市町の首長がそろって、府知事に「受水市町の自己水施設能力を考慮」「府営水道のダウンサイジングも含めた効率的な施設更新」を要望しました。知事は各市町の声を聞くべきです。



もっと利用しやすいバスへ!



昨年度から取り組んでいる東部社会実験バスが継続となり「30分ごと」に増便されます。また、市民要望が前進し、はっぴいバスの「鈴谷口」停留所設置や祝日の運行が実現しました。

党議員団は、はっぴいバスの土日運行を含む増便、北部循環バスや滝ノ町経由、西部地域のバスの増便と運行時間の改善を求めています。

JR長岡京駅東口エスカレーターがようやく新しく

JR長岡京東口エスカレーター

設置されてから29年が経過し故障が相次いでいたJR長岡京駅東口エスカレーターが新しくなります。工事は秋ごろから約3ヵ月ぐらいの予定で、その間は駅の東側にある企業には西口から地下道を使って通勤していただくなどの申し入れも行うとのことです。議員団は13年前にエスカレーターの稼働時間の延長を求め、始発から終電まで稼働させました。

阪急長岡天神駅のエスカレーター設置費用は阪急が3分の1負担しました。今回の工事は市が全額負担になっていますが、JRにも応分の負担を求めるよう指摘しました。



国民健康保険



ストップ！医療を壊す都道府県一元化

国は平成30年からの国民健康保険の都道府県一元化を進めています。国民健康保険は、国が財政支援を削り続けてきたため、多くの市町村で高い保険料となっています。市町村の行う国保事業が府に一元化されれば、住民の顔の見えないところで保険料が決められることになり、市独自の財政支援もなくなり保険料がさらに引き上げられてしまいます。

党議員団は、国保の国庫負担割合を従前の50%に戻すよう国に求める

ことを指摘し、国民健康保険の一元化が前提の国保会計補正予算に反対しました。

保育所 待機児童の対策を

今年度の市の保育所待機児童数は、すでに100人を超えています。市も待機児童緊急対策を講じていますが、根本的には積極的に認可保育所を増やすことが必要です。

党議員団は、認可保育所増設と、希望するすべての子どもが安心して保育を受けられるよう対策を求めるとともに、国への意見書も提案しました。

市が進めている待機児童緊急対策

- ・小規模保育園2ヶ園、事業所内保育施設の認可
- ・民間保育施設の開園支援
- ・神足保育所増築工事
- ・認可外保育施設の保育料への助成拡充
- ・子育て支援アプリ作成

保育施設での事故防止に向けて

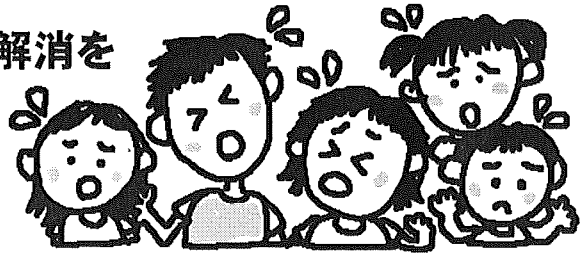
JR長岡京駅前保育施設と同系列の東京都内の施設で起きた乳児死亡事故を受け、党議員団は5月に事故防止対策の強化を求める申し入れを行い、6月議会でも市の具体策について質問しました。

学童保育 大規模化と体制不足の解消を

室内は鉄道ガード下と同じ音量の時も

大規模化の進む放課後児童クラブの児童数は今年度は総数889人でスタートしました。昨年、児童クラブの基準を定める条例ができ、1支援単位（1クラブまたは1クラス）の児童数はおおむね40人、1人あたりの面積はおおむね1.65㎡とされていますが、すべての児童クラブが基準オーバーです。

すし詰め状態になっているクラブの一つ、長三小は95人で、騒音レベルは最大で90db、時に100dbを超えることもあります。これは、電車の通るガード下、自動車のそばでクラクションを聞くレベルで、子どもたちが安心して生活できる環境ではありません。早急な分割化を求めました。



民間委託ありきで正規指導員欠員を放置

長十小は正規指導員一人欠員のままスタートしました。現在、正規指導員1名に代わりアルバイト2名が配置されていますが、立場も待遇も違うアルバイト指導員さんが過重な責任を負っているという現状です。

今まで通り正規指導員2人体制を求めたところ、市はこれから先の民間委託も考え正規指導員の補充は行わないことを明らかにしました。

民間委託を進めるからと、不安定な体制で子どもたちにしわ寄せすることは許せません。引き続き追及していきます。

市民生活、保育、教育のために 職員の確保を

市の正規職員数の目標値を定める「定員管理計画」は、これまで削減一辺倒で進められてきました。

その結果、職員の有休取得は2割台。病休なども増加傾向です。「アルバイトが保育所の担任」「プライバシーにも関わる窓口業務を民間委託」など、市民サービス低下や公的責任の後退も起きています。党議員団は「技術の継承なども考慮して、必要な職員数を確保せよ」と求めてきました。

こうしたもとで今回「第4次定員管理計画」が打ち出され、これまでの「556名まで減らす」目標が、「565名を上限として弾力的に配置」に改善されました。引き続き市民のために十分に力が発揮できる市役所づくりを求めていきます。

保育所クラス担任の
アルバイト **18%**

学校担任の
臨時職員 **12%**

市職員の有休
取得率 **2割台**



年度途中の収入増の使い方

昨年度は、補正予算で税収7.5億円、交付金3.2億円など、市の収入を大きく上方修正しましたが、庁舎建設基金8.1億円、財政調整基金3.9億円を積み増すなどに使われました。財政調整基金はJR西口再開発前の平成15年度以来、12年ぶりに30億円を突破しました。

将来に向け基金を貯めるのは大事なことです。年度途中で収入が増えたのであれば、予算編成段階で泣く泣く見送った事業を復活させたり、市民の負担を増やした部分を元に戻すなど、柔軟な対応も検討すべきではないでしょうか。

職員の収賄事件 調査追及その③

昨年12月、上下水道部職員が収賄容疑で逮捕された件は、裁判で証人尋問がまだ続いています。市長は庁内の調査委員会や、第三者を含めた「再発防止・改革検討外部有識者会議」などを立ち上げていますが、内容は議会にも明らかにされていません。

事件の真相は裁判を待つほかありませんが、改革検討はできるところから議論を進めるべきではないでしょうか。逮捕された職員の個別・特殊な問題にせず、全庁的な議論も求められます。引き続き追及を進めます。

相談ごと、ご意見をお寄せください。

党議員団(直通) 電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

検索

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話